

班ごとに2列で整列して座ってください！

全部で8列

スクリーン

2組6班

2組1班

1組6班

1組1班

2組7班

2組2班

1組7班

1組2班

2組8班

2組3班

1組8班

1組3班

2組9班

2組4班

1組9班

1組4班

2組5班

1組5班

START at 13:45



今年の総合的な学習の時間のテーマ

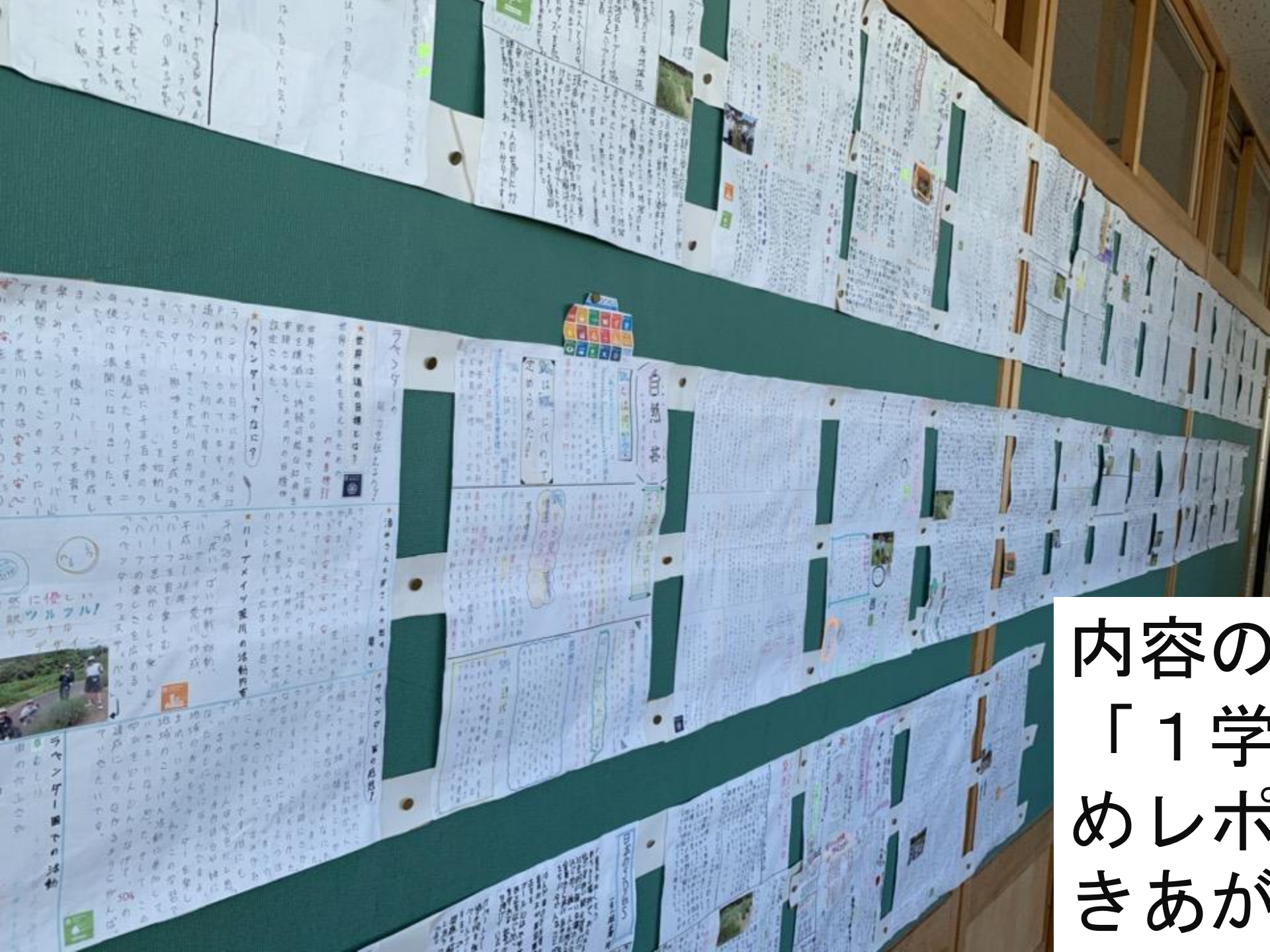
新潟から発信！SDGsの視点で グローバルな生き方を学ぼう

～持続可能でレジリエントな社会を目指すには？～



1学期の振り返り

- 5月・ ・ 小学校の総合的な学習の時間を振り返る
- 6月・ ・ SDGsを通して世界を見る
地域貢献活動×SDGsを考える
岸さんと酒井さんより「荒川地区の今」
ラベンダー園での地域貢献活動
- 7月・ ・ 1学期の総合まとめレポート作成。



内容のとても濃い
「1学期総合まとめレポート」ができあがりました！



8月28日
レポート鑑賞会







レポート鑑賞の観点

①読みやすさ

②タイトルや見出しの工夫

③SDGsとの関連

④説得力、読み手への働きかけ

③SDGsとの関連

- (〇〇さんのレポート) **SDGsの今の現状について書いてあり、どのくらい達成しているかが分かった。**
- (〇〇さんのレポート) **ラベンダーとSDGsの連鎖について図で書いていて見やすかった。**
- (〇〇さんのレポート) **「SDGsの陸の豊かさを守る」に注目してラベンダー園と関連づけている。**

④説得力、読み手への働きかけ

- (〇〇さんのレポート) 目標を達成するためには「ポイ捨てをしないように心がける」などのことが書いてあったので、自分も目標に向かって小さなところから始めようと思った。
- (〇〇さんのレポート) 「自分たちの生きていく地球を守りたいと思った」と書いていてなるほど、と思った。
- (〇〇さんのレポート) 「どうすれば目標を達成できるか？ や「自分ができること」を書いていて説得力があった。



9月2日、9日
道徳授業 「つながる思い」

〔1〕

「自分の国や、自身の生活も大変な状況にある人もいるのに、なぜ支援をしてくれたのだらう？」

〔みなさんから出た考え〕

- **日本のことが好きだから。**
- **自分に同じ苦しい状況にあるので助けたいと思ったから。**
- **日本がこれまで色々な国に支援をしてくれたから。恩返し。**
- **同じ人間として助け合うのが当たり前。**

〔みなさんから出た考え〕

- **人のためにすることが巡り巡って自分たちのためになるから。**
- **心優しいから。**
- **貧しくても、みんなで協力して困難を乗り越えていこうと思った。**
- **災害の恐ろしさを知っているから**
- **世界は一つだから。 他**

〔 3 〕

「自然災害や、新型ウイルス感染症などの諸問題が、これからも世界中で起こりうる状況の中で、『これから自分はどのように生きていきたいか』考えよう」

〔みなさんから出た考え〕

- **自分ができることを精一杯行う。**
- **命を大切に生きていく。**
- **自分のことばかりではなく周りの人のことも考えていきたい。**
- **今までの日常を大切にする。**
- **備えをしっかりとる。**
- **国内や海外で災害があった際、ボランティアや募金活動に携わりたい。**

〔みなさんから出た考え〕

- **自分が住んでいる地域、国のことじゃないから関係ない、と考えず、同じ地球に住んでいる人だから、自分のこととして、自分も同じ状況だったら、と考える。**
- **苦しい思いをしている人たちの思いを考えて行動する。**

〔みなさんから出た考え〕

- **世界を大切にしたい。**
- **心に余裕をもち、優しくなりたい。**
- **日本人同士、外国の人とも助け合う。国を超えて手を取り合う。**
- **心の支援をSNS等を利用してできるとよい。思いを紡いでいく。**
- **被災した方々に募金や支援を通して向き合えるようにする。 他**

2学期・3学期の予定

- 9月～10月・ ・新潟巡検の事前学習と準備。
- 11月11日～11月27日

オンライン **新潟巡検** ウィークスタート！
「**SDGs**に関する様々な取組を知る」

- 12月・ ・新潟巡検のまとめレポート作成
- 1月・ ・プレゼン大会
- 2月・ ・進路学習
- 3月・ ・一年間のまとめ

「ZOOM」



今年の「新潟巡検」はオンラインで行います！

2019年11月22日

新潟巡検 × SDGs



訪問先

北越コーポレーション(株)様



「外国からの持続可能な
原材料調達と印刷産業とメディア」

14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう





訪問先

(株)第四銀行 様

訪問先

一般社団法人
「おらって」にいがた市
民エネルギー協議会 様



「持続可能なエネルギー生産」

「気候変動・地球温暖化・異常気象の
実際と対策を学ぶ」

訪問先

新潟地方気象台 様



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



訪問先

新潟市消防局 東消防署 様

「食×SDGs～地産地消と食品ロス対策～」

訪問先

一正蒲鉾(株)様

訪問先

フードバンクにいがた様



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに





訪問先

日本エコハウス大賞 のお宅を見学

(オーガニックスタジオ新潟(株)様)

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



訪問先

東北電力(株)様



「省エネハウス×SDGs
～日本エコハウス大賞受賞の要因を探れ～」



**この世界を、
持続可能にするために**

SDGs

Sustainable Development Goals

(持続可能な開発目標)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年までに

世界を元気づけるための17の目標

達成すべき

17のゴール(目標)

「世界共通の目標」

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



「誰も置き去りにしない
世界をつくること」

No one will be left behind

世界を変革させる。

世界を変えるための17の目標

Transforming our world.

私たち一人ひとりが主役。

様々な諸問題をヒトゴトにしない

現在の村上市(特に荒川地区)の課題は？

- 田んぼの減少
- 少子高齢化
- 人口減少
- 遊ぶ場がない
- 発信力・PR不足
- 空き家
- バイク音
- 公共物への落書き
- 海や川を綺麗に
- ポイ捨て
- 医療（コロナ対策）
- 災害対策（洪水）
- あいさつ
- 荒川の魅力を残す
- SDGsの達成

6月4日の授業より

2020年も・・・



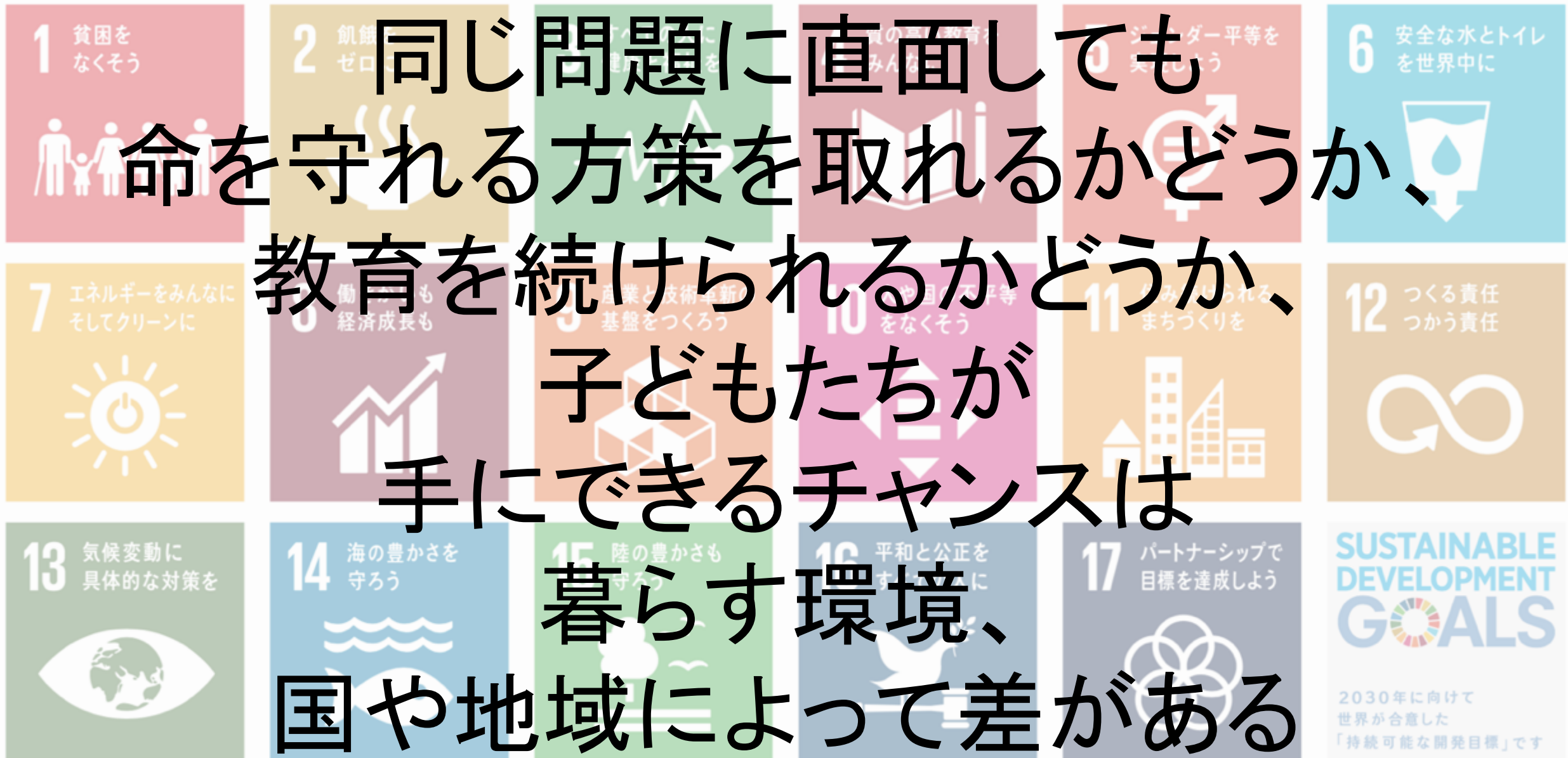
学校の休校の影響は
世界の十数億人に



感

世界の学校の43.5%に
石けんで手洗いできる
設備がない





同じ問題にも直面しても
 命を守れる方策を取れるかどうか、
 教育を続けられるかどうか、
 子どもたちが
 手にできるチャンスは
 暮らす環境、
 国や地域によって差がある

SUSTAINABLE
 DEVELOPMENT
 GOALS
 2030年に向けて
 世界が合意した
 「持続可能な開発目標」です

2020年も・



7月 九州豪雨

アメリカの
カリフォルニア州では
49.4度を記録



米カリフォルニア州 厳しい暑さ 山
火事続く 17万世帯余停電

09/09 05:58

日本のSDGs達成状況



日本は世界で **17位**

新型ウイルス感染症？ 高齢化？

生物多様性の喪失？ 食糧危機？

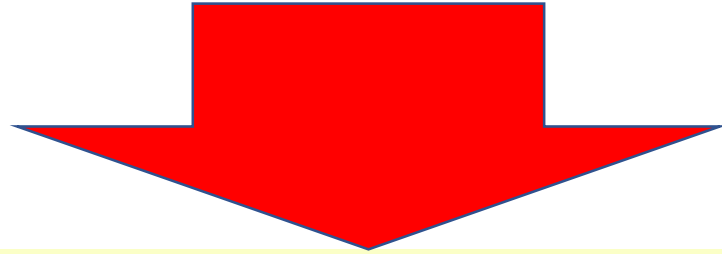
石油などの資源の枯渇（こかつ）？ 紛争？

貧困の格差？

気候変動？ 人工知能に
仕事が奪われる？

地球温暖化？ 自然災害？ 経済危機？

SDGs達成のためには、
「ありうる社会」にも
対応しなくてはいけない！



強く、しなやかな社会を
作るには？





竹のように、
強く、しなやかな社会を
作るには？ (レジリエントな社会)





私がこの夏に出会ったステキな町です。









宮城県

宮城県の「丸森町」

人口：おおよそ13,000人

「丸森町」にある「耕野地区」

人口：715人（おおよそ4割が65歳以上）

耕野地区



丸森町

- 課題
- ・ 少子高齢化、過疎化
 - ・ 空き家、耕作放棄地の増加
 - ・ 原発事故による風評被害で農業が衰退

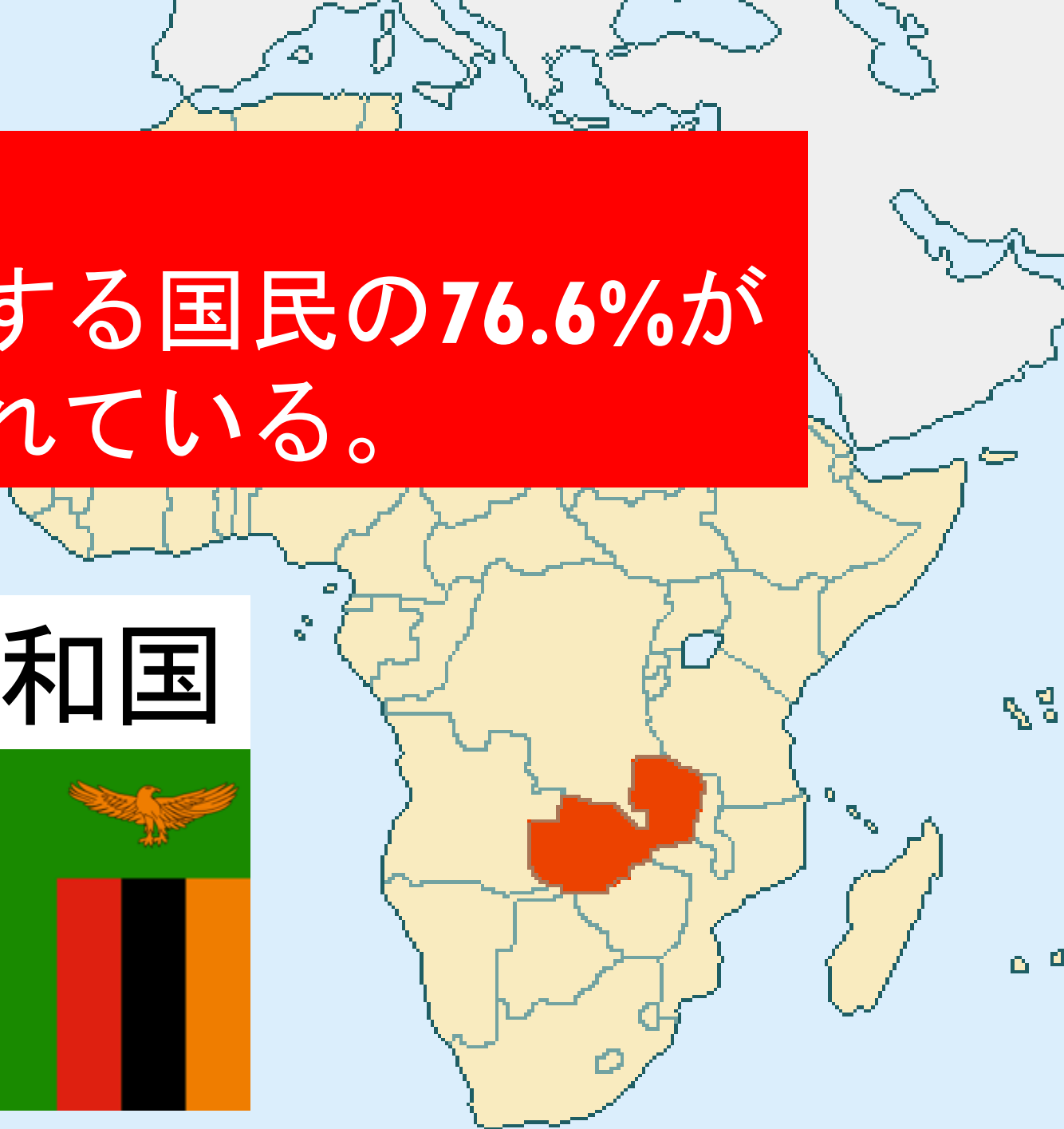




課題

- ・ 農村部で生活する国民の76.6%が貧困に苦しめられている。

ザンビア共和国





1日の食事回数



一回



1回: 1世帯 (1%)

二回



2回: 30世帯 (34%)

三回



3回: 56世帯 (64%)

丸森町

ザンビア



農業の技術がある！



生活を改善したい！
貧困を軽減したい！

2016年～2019年

草の根技術協力事業

「ザンビア丸森プロジェクト」



ザンビアから丸森町に
研修生を受け入れた



「建物を建てる、ものを買って渡す」ではなく、
ザンビアの状況を踏まえ、できることを提案





こんにゃくづくり



かまどづくり



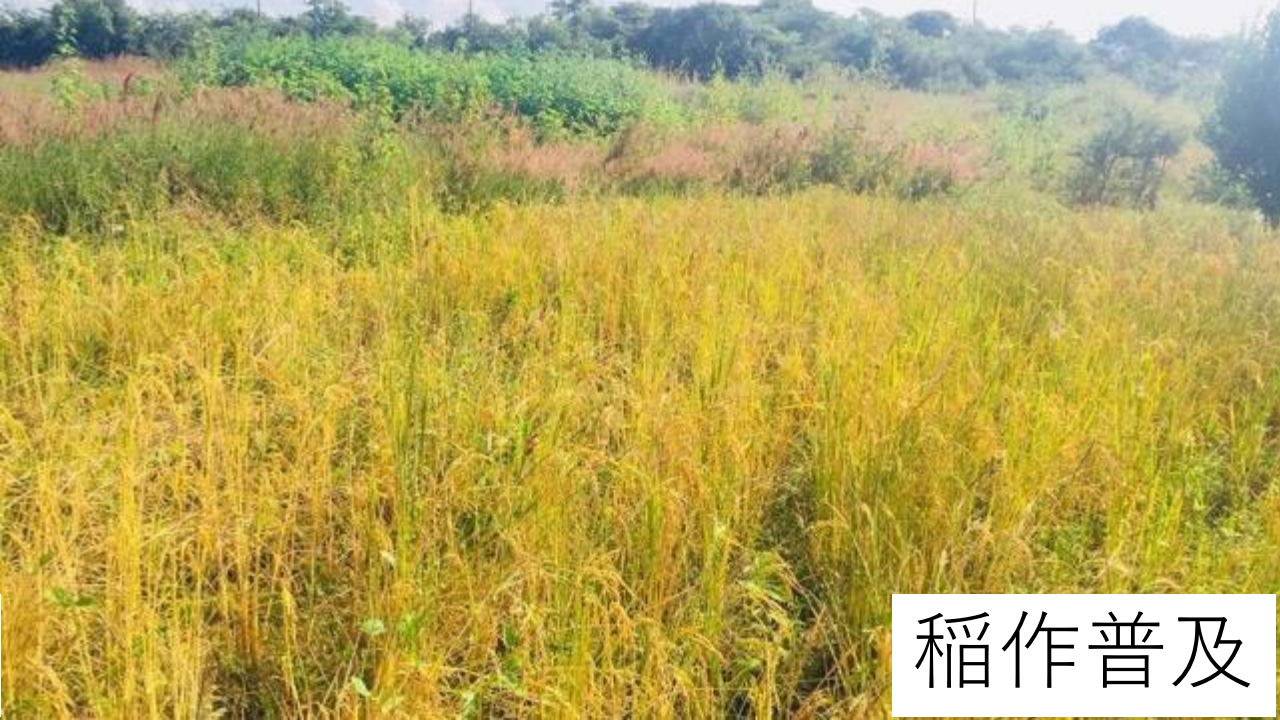
食品乾燥保存法



養蚕



大豆栽培普及



稲作普及



野菜栽培普及



きのこ栽培



マーケティング

ザンビアの農家への影響



農作物の種類が
増えた！

3. 農作物の生産品目数(一世帯当たり)

	ムテバ&ナチヨボ村	ゴモラ村	チトゥレ村
2014-2015	2.90	0.95	2.69
2015-2016	2.73	1.23	3.31
2016-2017	4.23	2.88	2.01
2017-2018	4.59	3.11	3.18

ザンビアの農家への影響

農作物の種類が
増えた！



食材の種類が
増えた！



ザンビアの農家への影響

食材の種類が
増えた！



栄養に関する
知識が増えた！



ザンビアの農家への影響



収入が
増えた！

貯金金額も
増えた！

ザンビアの農家の人々の声



にんじんや玉ねぎなどに関する栽培講習を受けて、「作物がよく育ちやすい土」を作ることができた！

農作物の種類が増えたことによって、天候が悪く育たない農作物があっても、他の農作物を売ることができた！

丸森町の農家の人々の声



明るくて、歌や踊りが上手な
ザンビアの人たち。彼らが発
展、成長していこうとしてい
る。貧困から脱出しようとし
ている。そんな彼らに少しで
も役に立てたら嬉しい。

ザンビアとの技術協力や交流を
通して、世界観が広がった！

丸森町の農家の人々の声



アフリカじゃなくて「ザンビア」、黒人じゃなくて「ジョセフィン」。遠いけれど身近な国。



少子高齢化の日本と真逆のザンビアと交流ができて、何かが見えてくるような気がします。



丸森町の農家の人々の声



高校生

「ザンビアの人たちと
出会い、幸せの角度を
30度から150度、180度
へと広げようと思っ
た。」

丸森町の

宮城) 被災地、丸森にザンビアから激励 五輪と農業の絆

🔒 有料会員記事

大宮慎次郎 2019年12月11日 3時00分

シェア

ツイート

list

BI ブックマーク

0

スクラップ

メール

印刷



現地で指導する石塚さん（右から2人目、ザンビア・ルサカ州、石塚さん提供）



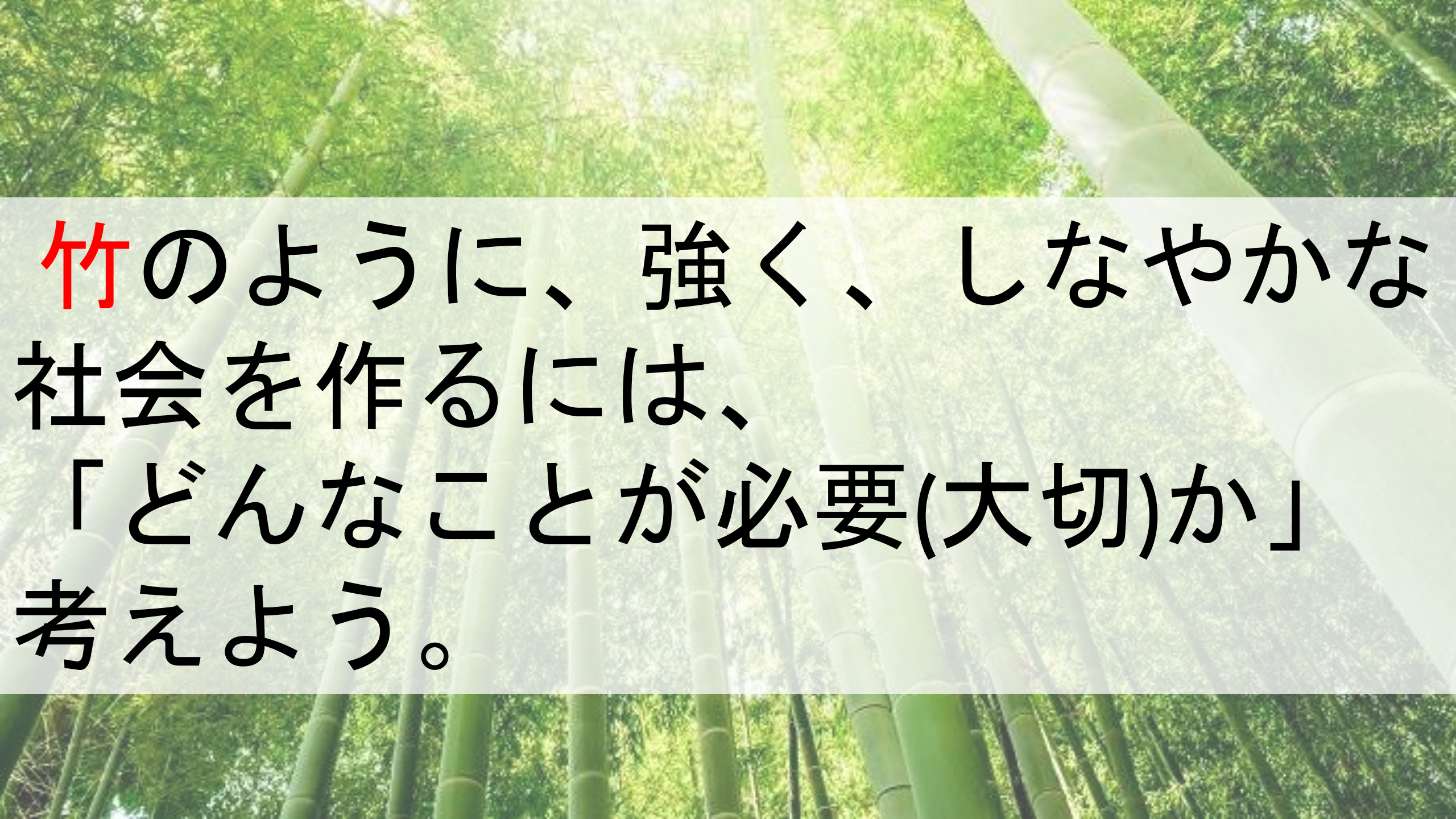
10月の台風19号に襲われた宮城県丸森町に、アフリカのザンビアから見舞いの声が届いている。町は2020年東京五輪・パラリンピックのザンビアのホストタウン。台風被害で五輪関連行事がどうなるか不透明だが、農業を通じて長年交流を続ける人たちは、五輪でザンビアとの縁が深まることを期待している。

「私たちの第二の故郷である丸森町は、災害にもくじけないと信じています」

た、ザンビアのルサカ州の農村で農業指導員として活動している石塚さん。市議会議員を務めた。
 指導員のため、トウモロコシの収穫を支援するボランティアのメンバーとして、ザンビアの農村で農業指導員として活動している石塚さん。市議会議員を務めた。食糧問題を懸念した。



ザンビアの主食をアレンジし
 訪問メンバー



竹のように、強く、しなやかな
社会を作るには、
「どんなことが必要(大切)か」
考えよう。

【宿題】

レジリエントな社会づくりにつ
ながる「村上市の強み（魅力）
は何か」、できるだけたくさん
考えよう。